

広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30
10月 4日 アジア・オセアニア高校生フォーラム
10月11日 広げよう、命のボランティア
10月18日 シェアリング・エコノミー
10月25日 知事と語る

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜 19:30

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00
※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け! 県政最前線 火曜 15:40
放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

他県からの情報発信コーナー

VRで徳島を旅しよう!

徳島の自然や文化を、360°見渡せるVR動画で。

市街地を船でまわる「ひょうたん島クルーズ」や、四国最大の大河・吉野川の上を鳥になって飛んでいるような気分を味わえるものなど、徳島の魅力を凝縮したVR動画を公開しています。

VRで徳島を旅してみませんか?

VR動画:目の前にある現実とは異なる空間を、実際にその場にいるように体感できる動画。



問 徳島県秘書課
☎088-621-2020 FAX088-621-2823
徳島の観光情報は [阿波ナビ](#)

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」

この言葉はよく聞く言葉でありまして、歴史から学ぶ事はたくさんあるということ、言いたい時の枕詞まくらことばのような使い方をすることが多いと思います。でも、私がかねがね、このタイトルの言葉は変だと思っています。歴史から学ぶことのできる人は確かに賢者だと思ふけれど、過去の経験から学ぶ人(この場合多分自らの経験でしょう。)を、愚者というのは余りにもきつすぎるし、変だと思ふのです。

それで調べてみました。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ。」という言葉はドイツ帝国の鉄血宰相のビスマルクからきています。でも本当の発言は少し違うようです。どうもこう言ったらしいのです。「愚者だけが自分の経験から学ぶと信じている。私はむしろ、最初から自分の誤りを避けるため、他人の経験から学ぶのを好む。」それがいつしか標記の形に省略されたもののようです。

和歌山県も度々悲劇に遭遇しますが、その時県民を十分守り切れなかったという悔いを今後はそのようなことが二度と起こらないような工夫の原動力としています。

一例を挙げると、紀伊半島大水害の大きな被害に鑑み、緊急機動支援隊、産廃業者と協力した災害廃棄物の処理、ダムの発電用の貯水を事前に抜いてもらうための電力事業者との契約、等々の対策が生まれました。

一方歴史に学ぶ方も大事です。よその経験も良い政策もどんどん取り入れるべきでしょう。東日本大震災から和歌山県も地震津波対策でもものすごい工夫をしました。避難路などを造るパワーアップ補助金、リスク評価をした避難場所の設定、避難困難地域の発表とそれの解消の方法、家屋やホテルなどに対する大胆な耐震補助金、実際の地震による潮位変化によって津波の到達状況の予測をするシステムの開発など、「賢者は歴史に学ぶ」を基本に様々な政策が追加されました。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 80

・古紙パルプ配合率
※残りは、その他の持続可能性をめざしたパルプを使用
・塗工量

70%以上
30g/ml以下

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙でリサイクルできます。